

■ キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	17年度 (H17.4-H18.3)	18年度 (H18.4-H19.3)	19年度 (H19.4-H20.3)	増△減 (前年比較)
I. 業務活動によるキャッシュ・フロー				
原材料、商品又はサービスの購入による支出	△37,357	△38,915	△41,520	△2,605
人件費支出	△62,741	△62,945	△63,225	△280
その他の業務支出	△4,959	△4,006	△3,846	160
運営費交付金収入	62,582	62,228	60,874	△1,354
学生納付金収入	12,981	12,945	12,949	4
附属病院収入	23,885	24,438	24,643	205
受託研究等収入等	12,009	15,214	15,200	△14
寄附金収入	7,423	3,397	4,834	1,437
補助金等収入*1	399	533	2,868	2,335
預り科学研究費補助金等の受払	△299	359	210	△149
承継剰余金の支払	△2	△4	△0	4
その他収入	2,266	2,718	3,299	581
業務活動によるキャッシュ・フロー	16,189	15,964	16,289	325
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー				
有価証券の取得による支出*2	△1,297	△1,011	△132,999	△131,988
有価証券の償還による収入*3	1,002	1,000	119,000	118,000
有形固定資産の取得による支出	△6,938	△8,714	△18,591	△9,877
無形固定資産の取得による支出	△255	△276	△262	14
有形固定資産及び無形固定資産の売却による収入	1	—	0	0
施設費による収入	3,008	6,393	12,287	5,894
定期預金等の取得による支出*2	—	△111,000	—	111,000
定期預金等の払戻による収入*3	307	90,000	200	△89,800
小 計	△4,172	△23,608	△20,365	3,243
利息及び配当金の受取額	74	165	316	151
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,097	△23,443	△20,048	3,395
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー				
国立大学財務・経営センター債務負担金の返済による支出	△3,600	△3,637	△3,608	29
国立大学財務・経営センター借入金の返済による支出	—	△18	△58	△40
国立大学財務・経営センター借入金による収入	361	—	557	557
PFI債務の返済による支出	△207	△473	△1,019	△546
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△8	△120	△559	△439
小 計	△3,453	△4,250	△4,688	△438
利息の支払額	△1,436	△1,463	△1,522	△59
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,890	△5,714	△6,210	△496
IV. 資金増加額 (又は減少額)	7,201	△13,193	△9,970	3,223
V. 資金期首残高	22,444	29,645	16,452	△13,193
VI. 資金期末残高*4	29,645	16,452	6,482	△9,970

注) キャッシュ・フロー計算書とは、資金の調達や運用状況を明らかにするため、一会計期間の資金の流れを「業務活動」・「投資活動」・「財務活動」の3つの区分に分けて表示し、報告するものです。

百万円未満を切り捨てているため、合計額が一致しない場合があります。

(※ 1) グローバルCOEプログラムや、世界トップレベル拠点等の補助金の受入などにより約23億円増加しています。

(※ 2) 平成18事業年度まで、現金及び預金として表示していた譲渡性預金が、金融商品会計に関する実務指針の改正により、平成19事業年度より有価証券として表示されることになりました。これに伴い、譲渡性預金の取得に係る支出1,320億円が、平成19事業年度より、有価証券の取得による支出として表示されています。

(※ 3) (※ 2) に示した理由により、譲渡性預金の償還による収入1,180億円が、平成19事業年度より、有価証券の償還による収入として表示されています。

(※ 4) 資金期末残高については、平成18事業年度と比較し、次年度払いの未払金が約53億円増加しておりますが、寄附棟建設に係る支出などにより、寄附金債務が約13億円減少したことや、資金残高に数えられない譲渡性預金分が本計算書上は140億円減少していることなどにより、約100億円の減少となりました。